

2018年1月16日

各位

星光PMC株式会社

管理本部総務部 IR担当

### セルロースナノファイバー複合材料 商業生産開始の件

当社は昨年末に、竜ヶ崎工場（茨城県龍ヶ崎市）にあるセルロースナノファイバー（CNF）実証生産設備（パイロットプラント）（\*1）の生産能力増強工事を完了させ、“STARCEL<sup>®</sup>”ブランドにて、CNF複合材料の商業生産・製品出荷を開始致しました。

なお、現時点での生産能力は、変性セルロースで約70トン／年、CNF複合材料換算で約200トン／年となります。

当社のCNF複合材料は、木材パルプに当社独自の技術で化学処理を施した変性セルロースをポリエチレン（PE）やポリプロピレン（PP）と混練し、ナノ解繊することで得られる材料であります（\*2）。自動車や建材、電子機器から身の回りの生活用品に至る広範囲な分野において、お客様のニーズに合わせて製品開発を進めております。

今後もお客様との対話や協業を通じて、“暮らしをより豊かにする”という視点を持ちながら、更なる実用化を推進して参ります。

\*1：本プラントは、国立大学法人京都大学と当社が、経済産業省のイノベーション拠点立地推進事業「先端技術実証・評価設備整備費等補助金」に採択され、その助成を受けて2014年10月に建設致しました。

\*2：国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）のプロジェクトグリーンサステイナブルケミカルプロセス基盤技術開発「セルロースナノファイバー強化による自動車用高機能化グリーン部材の研究開発」で得られた成果を基に、当社が改良・発明を重ねて量産化を実現しました。

以上